

第三十九日目

師 範：幕府は、キリスト教の影響を防ぐために、1639年にポルトガル船の来航を禁止しました。

イギリスはすでに1623年に自分から手を引いていました。

1624年にはスペイン船が来航禁止にされました。

これでオランダとの通商だけになりました。

一方、日本人に対しては、すでに1635年に、すべての日本人の海外への渡航を禁止しました。

また海外にいた日本人が日本に帰国することも禁止しました。

こうして1639年に、「鎖国」という状態が完成しました。



1639年 鎖国が完成する。

この年を覚えておきましょう。

コン太：いろいろ年号が出てきましたが、1639年を覚えるのですね。



「また一つむさくるしくなった鎖国令」

「ひとつ」は1, 「む」は6, 「さ」は3, 「く(るしく)」は9を読みました。

ペン太：なかなかむずかしい。

「日蘭は一路, 裂く日ボの仲」

「いちろ」は16, 「さく」は39ですね。



師 範：それぞれに意味がうかがわれて、よいですね。

ペン太君は1639年で、幕府がポルトガルとの関係を切って、オランダ一国を選んだということを、表そうとしています。

コン太君はヨーロッパの国々から見て制限が一段ときびしくなっていくようすを表そうとしました。